

2021年8月10日

カーボンブラック協会

2021年（R3）カーボンブラック需要年央見直し

内閣府の7月の月例経済報告によると、国内景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、設備投資・生産は持ち直し、輸出も緩やかに増加が続いてことから、ワクチン接種の促進、各種政策の効果や海外経済の改善もあって今後も持ち直しの動きが続くことが期待されている。ただし、変異型ウイルスの感染動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があるとしている。

このような経済環境の中で、カーボンブラック需要の7割を占める自動車タイヤ需要について（一社）日本自動車タイヤ協会が、9割超を占めるゴム産業全体の新ゴム消費量について（一社）日本ゴム工業会が本年の見直し需要をそれぞれ公表している。これによると、自動車タイヤの国内需要見通しは前年比6.9%増、新ゴム消費量は、タイヤ用で同5.3%増、一般ゴム用は同11.7%増、ゴム用合計で同6.6%増となっている。

当協会は、（一社）日本自動車タイヤ協会と（一社）日本ゴム工業会の見直しをベースに、カーボンブラックの輸出入の状況等を加味して2021年のカーボンブラック需要の見直しを行った。この結果、カーボンブラック総需要は前年比7.2%増、年初見直し比1.3%増の660,770トンとした。

なお、「年央見通しの指標」については添付資料の【表1】を、「カーボンブラック需要年央見直し」については同【表2】、「輸入動向年央見直し」については【表3】を夫々参照願う。

以上

【表1】 2021年需要年央見直しの指標

	2020年実績		2021年年初見通し		2021年年央見直し	
	数 量	前年比	数 量	前年比	数 量	前年比
自動車生産 (千台)	8,068	83.3%	8,654	107.3%	8,778	108.8%
国内タイヤ需要 (千本)	102,647	86.9%	107,475	104.7%	109,679	106.9%
タイヤゴム消費 (トン)	863,280	81.0%	907,070	105.1%	909,040	105.3%
一般ゴム消費 (トン)	223,120	84.6%	244,530	109.6%	249,160	111.7%
新ゴム消費量計 (トン)	1,086,400	81.7%	1,151,600	106.0%	1,158,200	106.6%

【表2】 2021年カーボンブラック需要年央見直し

	2020年		2021年 年初見通し		2021年 年央見直し	
	数 量	前年比	数 量	前年比	数 量	前年比
タイヤ	401,425	77.7%	421,788	105.1%	422,700	105.3%
一般ゴム	127,179	84.6%	139,382	109.6%	142,020	111.7%
ゴム用計	528,604	79.2%	561,170	106.2%	564,720	106.8%
非ゴム	40,459	83.4%	42,450	104.9%	43,850	108.4%
内需計	569,063	79.5%	603,620	106.1%	608,570	106.9%
輸出	47,418	89.6%	48,800	102.9%	52,200	110.1%
[内ゴム用計]	13,672	83.6%	14,350	105.0%	15,000	109.7%
総需要	616,481	80.2%	652,420	105.8%	660,770	107.2%
[内ゴム用計]	542,276	79.3%	575,520	106.1%	579,720	106.9%

【表3】 2021年カーボンブラック輸入動向

	2020年実績		2021年 年初見通し		2021年 年央見直し	
	数 量	前年比	数 量	前年比	数 量	前年比
ゴム用	112,841	79.3%	118,000	104.6%	118,000	104.6%
非ゴム用	12,459	86.2%	13,300	106.8%	13,300	106.8%
合計	125,300	79.9%	131,300	104.8%	131,300	104.8%

以上